

## 令和2年度（第19回）善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

1 日 時 令和3年3月11日（木）16時30分～

2 場 所 善通寺市子ども・家庭支援センター 体育館

3 出席者 委員14名  
欠席 1名

### 4 会議の概要

#### 1. 議事

- (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理・評価について
- (2) その他

### 5 資料

- ・事業量の見込み、提供体制の確保内容、実施時期等

### 6 会議録

#### 1. 議事

- (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理・評価について

〔事務局〕資料に沿って説明。

令和2年度の実績値については、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の影響を受け、利用者数が減少している傾向がみられる。

〔委員〕新型コロナ予防のため、子育て支援拠点事業の施設を3月～5月まで閉所していた。6月から再開したが、感染症対策を講じながら実施をしている。一方では、利用者支援事業としてパソコンやタブレットを活用しながら、オンラインの個別相談業務を新たに始めた。

〔委員〕今までは幼稚園から小学校に行く子どもが多かったように思うが、幼稚園に行かず、保育所・子ども園に残る子どもが多くなってきたように思う。

〔委員〕新型コロナの影響から、自宅で過ごす時間が増え他の子ども達との交流が減ったことで、コミュニケーション力が下がらないか心配している。

〔会長〕病児・病後児保育事業も新型コロナの影響から、令和2年度の利用者が減少している。新型コロナ予防対策の効果で他の感染症も減少しており、病気の児童総数が減少している。

〔委員〕小学校の登校自粛期間は、朝からスタディーアフタースクールを利用する児童が多かったが、受入れ体制を工夫することで希望する児童が利用できた。

〔会長〕放課後児童健全育成事業はコロナ禍において特にしわ寄せが及んだ事業あったと思う。この先も不透明なことが多いため、新しい仕組みづくりを考え

ていくことが大事である。

〔委員〕園外の子ども達を対象に空きスペースを活用した交流活動を実施してきたが、新型コロナ予防のため事業を休止した。利用していた保護者の孤立感が高まり職員が相談を受けることが多くあった。また、職員自身も、個別相談が増え、心理面の負担が以前より増したように思う。

〔会長〕コロナ禍での体験不足は、今後子どもに影響が出てくる可能性がある。子どもの成長発達を促すような支援策が必要だと感じている。また、計画策定時には、新型コロナは予想できるものではなく、当然、見込み量に乖離ができる。今後本市の強みを生かす工夫や子育て支援に関わる皆さんの協力が必要になってくると思う。

－ 進捗管理・評価について承認 －

(2) その他

－ 閉会する －